

小グループ学習と講義

双方向性・協働的な授業（写真は使用予定の岐阜大学医学部の一室）

キャンパス授業では、タブレット 端末と 電子黒板を駆使し、インタラクティブで協働的な授業を行い、キャンパスならではの学習方法で履修生の理解を深化させる



講師

履修生のタブレット端末と同期された学校用電子黒板を駆使して濃密で効果的なグループ学習が可能

海外で医療者教育学・教育学修士課程を修了した専任教員らによる最新の知見を含む授業

59

壁一面に書き込み可能な大型ホワイトボード

タブレット 端末の効果的活用

U = RVECAとは…
評価の有用性 (Utility) を測る数式モデルです。
その評価が真に「有用」なものかを考えるための指標として…

- R-reliability (信頼性)
- V-validity (妥当性)
- E-educational impact (教育における影響)
- C-cost effectiveness (コストパフォーマンス)
- A-acceptance (認容性)

シミュレーション教育演習

「多職種協働型ベッドサイド教育授業」でのロールプレイ

写真左：McGill大学、Joyce Pickering先生

キャンパス学習では、想定される場面での実演も交え、指導スキルを演習する



多職種連携教育のグループファシリテーション実習

科目7 で予定している 実地での実習： 岐阜県下の多施設・多職種合同実習



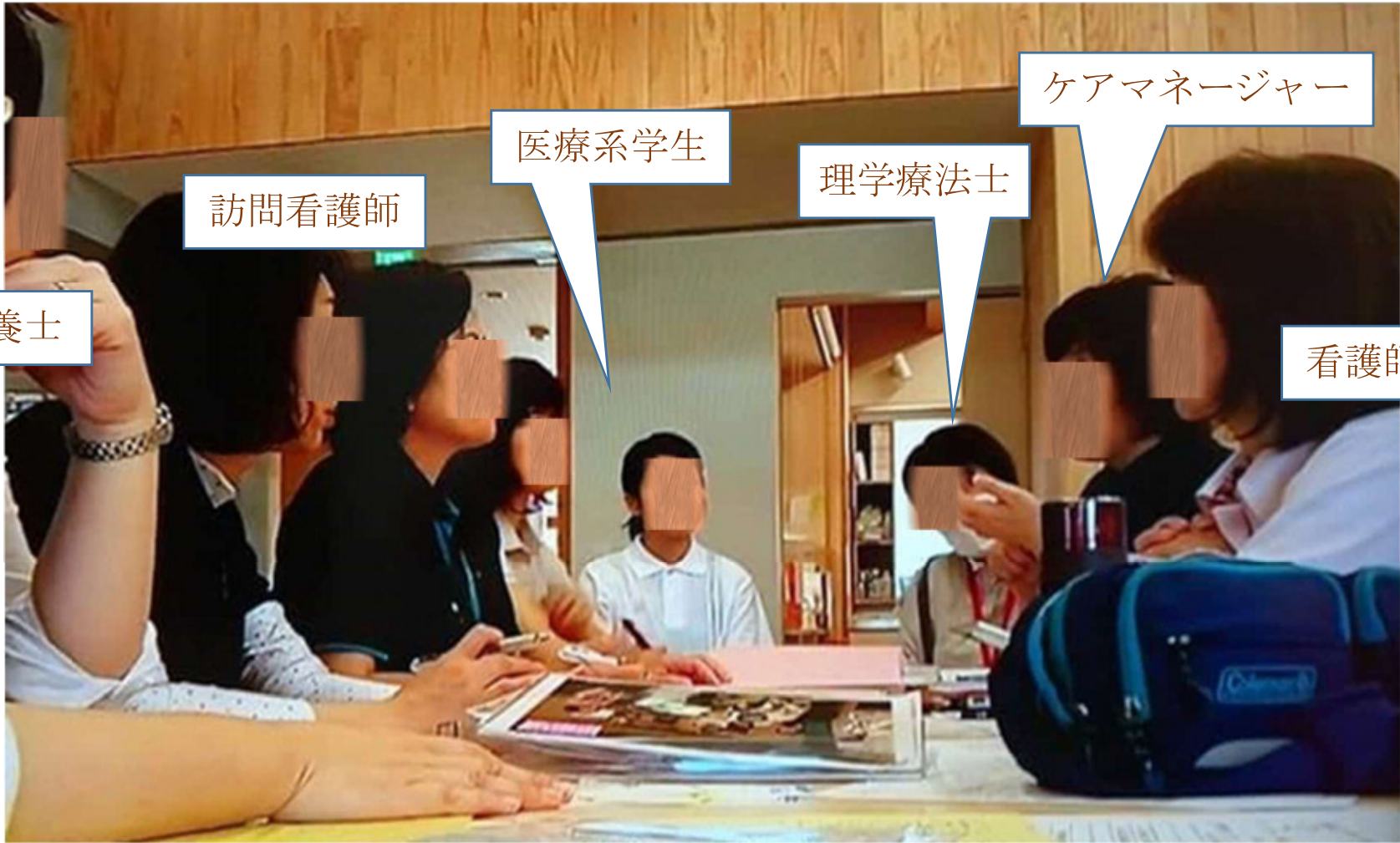
グループファシリテーションを実習している新人教員

新人教員の指導を見守る指導教員

退院を目指す患者のための退院後在宅療養計画を議論している看護学生、理学療法学生、医学生、栄養学生

在宅医療機関における多職種連携の参与観察

科目1 で予定している、在宅医療クリニック（岐阜県笠松町）での臨地実習：
在宅患者への栄養とリハビリを検討する多職種チームカンファレンス



Web対面授業風景

毎必修科目で実施する **Web**対面授業のイメージ写真：
履修生のレポート・スライドを供覧し議論を深める



遠隔参加者の表情も映し出されるので、ライブ感のある議論が可能

遠隔参加者のスライドの供覧

キャンパスの音声を拾い共有できるマイクروفオン